東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2309回例会　2014.5.22

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
飯田例会運営委員

■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
野澤会員

■お客様紹介：
小町パスト会長

◆ゲスト：武蔵村山ＲＣ
波多野稔様

■会長報告　野村会長

第2308回移動例会　気仙沼南ＲＣ訪問

皆さんこんにちは　先週の15日(木)・16日(金)の二日間移動例会の形式をとって、宮城県気仙沼の現状と親睦の旅に行って参りました。当クラブからは、会員16名・令夫人他で8名・事務局1名の計25名で、気仙沼南ロータリークラブの例会に出席して参りました。15日は朝6時に東村山駅東口に集合し、中條会員のバス会社手配のマイクロバスにて、ＪＲ大宮駅までの行程ですが、途中車中において、第2回臨時理事・役員会を開催しました。議題は支援金贈呈の件と言うことで、参加者全員から1,000円ずつそして、会の特別会費から7万5千円を支出して、合計10万円にする事でした。無事審議は尽くされ議題は、承認されました。そして、東北新幹線「はやぶさ」に乗車して一ノ関駅で下車。その後には1時間半程で気仙沼漁港に到着し、南町紫市場を見学して、宿泊先の気仙沼プラザホテルに12時頃到着しました。ここのホテルの女将は気仙沼南ロータリークラブの会員です。そして、気仙沼南ロータリークラブ第2256回例会に参加し、幹事報告の後に支援金贈呈・バナー交換と続き、ローターアクトの沢井さんが5月17日に予定されている第38回地区年次大会の案内に来ていました。ローターアクトの沢井さんには、過去に2度会っていて何とか気仙沼を再生させたいという強い情熱を持った素晴らしい青年です。当日の例会時間の20分を東村山に預けると言うことになり、当クラブより4人の発表者で卓話をしてきました。発表者は、会長・幹事・田中クラブ管理委員長・小町パスト会長にお願いしました。こちらのクラブでは、ニコニコでは無くスマイルボックスと称し、一人一人一言を言ってお金を置いていくと言う独特のやり方をしていました。例会終了後には、名刺交換等で親睦を深め大変意義のある移動例会だったと思います。その後夜の親睦会は、三陸の海産物に舌鼓を打ち気仙沼南ロータリークラブから差し入れの1升瓶2本を頂き、見事に2本とも無くなりました。2次会のカラオケも盛り上がり楽しいひとときでした。翌日は観光となり、陸前高田の「奇跡の1本松」・「猊鼻渓の船下り」では、面白い船頭さん当たり、大騒ぎでした。その後世界遺産の「中尊寺」・「毛越寺」と観光しました。結びに当たり、今年のテーマであるロータリーの輪を広げることが、先日の名古屋守山ロータリークラブに引き続き今回の旅行でも出来たと実感した次第です。

■幹事報告　石山幹事

■ガバナー事務所：
・2013～14年度国際ロータリー第2580地区収支補正予算書の受理
・第24回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会の案内の受理
2014年6月23日(月)
於　ツキサップゴルフクラブ
プレー費：11,000円程度、登録費：17,000円
締切：6/3
大会会長：第2510地区 我孫子建雄ガバナー
・「第12回ロータリー平和センター年次セミナー」と「第11回ロータリー平和フェローの終了を祝う会」開催の案内の受理
2014年6月14日(土)　9:30～
於　国際基督教大学

■クラブ奉仕委員会：
・卓話者リスト見直しのお願いについて
2010～11年度作成のリストの訂正・変更・追加等
・2014～15年度地区クラブ奉仕委員会案内の受理
6月25日(水)　15:00～
於　ガバナー事務所
・「[仮称]石川パストガバナーの会」開催(再開)の案内の受理
平成26年7月11日(金)　17:00～受付
東武ホテルレバント東京

■国際奉仕委員会：
シドニー国際大会　東京ナイトパーティ最終案内の受理
2014年6月1日(日)　18:30～
ジャケット着用、ネクタイはあった方が望ましい

■社会奉仕委員会：
2013～14年度地区社会奉仕委員会「納会」開催案内の受理
6月13日(金)　18:00～
於　「よいこ」

■職業奉仕委員会：
2014～15年度「在京クラブ職業奉仕委員長会議」開催の案内
2014年6月19日(木)　15:00～
於　東武ホテルレバント東京

■青少年交換委員会：
2013～14年度青少年交換来日学生帰国前報告会／来日学生・派遣予定学生合同歓送会について
6月15日(日)　15:00～
於　ホテルメトロポリタン

■ロータリー財団委員会：
(在京)地区ロータリー財団セミナーの案内の受理
2014年7月8日(火)　15:00～
於　如水会館
※出席義務者：R財団委員長、他2名　計3名

■回覧：
ＲＩＤ2580九十会「多田宏ＰＤＧを囲む会」案内
ローターアクト3･4月活動報告
青少年奉仕情報
ハイライトよねやま
武蔵野女子学院ニュースレター
小平ＲＣ週報

■出席報告　北久保例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	19	0	7	88.46

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：88.89%
■前々会メークアップ者：
相羽会員：カンボジア視察

■ニコニコＢＯＸ　西河クラブ管理委員

■皆出席：
金子会員(13回目)

■ご結婚祝月：
相羽会員

◆波多野様：お世話になります。
◆野村会長、石山幹事：
先週の親睦旅行、大いに楽しみました。

親睦委員長田中さん、副委員長野村裕夫さん、ご苦労様でした。本日地区協議会の発表、5大奉仕の委員長さんよろしくお願いします。

◆田中会員：大好きな大好きな波多野様、ようこそ東村山へ。お元気なお姿を拝見でき、嬉しく思います。気仙沼家族親睦、大勢の参加を頂きありがとうございました。お陰様で思い出に残る親睦旅行が開催できました。

◆野澤会員：過日の親睦旅行では大変お世話になりました。皆さんと別れての三陸鉄道の旅、とても良かったです。うに丼、海鮮丼も食べてきました。波多野さんようこそいらっしゃいました。

◆中丸会員：楽しみにしていた親睦旅行に参加出来なくなり、大変申し訳ございませんでした。お通夜・葬儀の最中も皆様の楽しげなお顔が頭に浮かびました。企画して頂いた野村様や皆様、ごめんなさい。

◆小町会員：波多野様ようこそおいで頂きました。樺澤様、写真ありがとうございます。

◆金子会員：写真ありがとうございます。

◆野村会員：写真ありがとうございます。

◆山本会員：先週は北久保会員、留守を守って頂きありがとうございました。無事に旅行に行ってきました。

◆野崎会員、當麻会員：
波多野パストガバナーようこそいらっしゃいました。

◆町田会員：波多野稔様、本日はようこそいらっしゃいました。ごゆっくりしていって下さいませ。

◆相羽会員：波多野様、ようこそお越し下さいました。

本日のニコニコ合計：　38,000円
累　　計　：1,269,324円

■委員長報告

■相羽国際奉仕委員長

国際奉仕委員会の2014～2015年度の事業計画に掲げた国際奉仕の理念に基づいて、会員ロータリアンの皆様より上半期に寄付金を募り「10万円」カンボジアの農村地帯「シェムリアップ州ソートニコム郡タヤエク地区」の人々に井戸を4箇所に設置させて頂きました。

先日「4/25～4/29」寄贈の井戸水の現地視察を、昨年度当クラブで卓話をお願いさせて頂いたＮＰＯ法人を通じてボランティア活動をされている松岡和也様と田中嘉孝様「戦場や貧困国などのカメラマン」の方と3名で行ってきました。現地では名古屋和合ロータリークラブの6名の方や、大分県からのＮＰＯ法人「カンボジアの健康及び教育と地域を支援する会」の5名他数名が合流し「名古屋和合ＲＣ」が寄贈された簡易水道設備の譲渡式典などにも参加させて頂き感動を頂きました。地区の代表議員「日本の国会議員」や市民などが募りボイスマッチ村の歴史的な出来事とあいさつされておりました。式典終了後、今回寄贈された40箇所の井戸を2日間に渡り全て回り寄贈した家族などと記念撮影を撮り、記念品「3色ボールペン」をプレゼントして回ってきましたが、街中の国道を離れ、村に入ると砂利道を「浮きになると泥んこ道」でこぼこ道を走りながらの視察です。又は車が入れないところも多く、バイク部隊の後部座席に乗り、馬のロデオ状態での視察で腰が痛くなり、帰ってはホテルでのマッサージなどで癒しておりました。

このＮＰＯ法人は14年間で、今日までに寄贈された詳細は、学校計20校舎、120教室「中学校4校含む、教科書、教材、スポーツ用品等、手押し井戸掘り活動支援合計2350箇所、本簡易水道、水タンク、発電機による給水ポンプ設備などサンワイ地区に1箇所、ボイスマッチ村に簡易水道「名古屋和合ＲＣ」寄贈、住民314所帯に給水設備1箇所、歯科医師グループは炎天歯科診療支援活動、薬品、歯ブラシ配布など。

この地区には電気設備も無く、学校にも電気はありません。小、中学校も足りずに子供たちは、午前・午後の二部制でしのいでいるようです。以前は三部制もあったようです。

今回私たちが視察して回った地区にはスウェーデンやカナダが支援して出来た学校や簡易水道、井戸などもあり世界の国々が支援活動をされておりました。

■田中クラブ管理委員長

お疲れ様です。

・次年度組織表が出来上がりました。会員の皆様におかれましたては、ご負担をおかけして大変かと思いますが、ご協力のほど、よろしくお願いします。
・クラブ概況に載せます事業計画、委員長の皆様、早急に提出をお願いします。
・家族親睦旅行、大勢の参加を頂きありがとうございました。
・明日5/23、西武園で東村山ＲＣ親睦ゴルフコンペを2組にて行ないます。

◆東村山ＲＣ親睦ゴルフコンペ詳細および結果

日時：2014年5月23日（金）
場所：西武園ゴルフ場（アウト7:46スタート・キャディ付）
集合：7:15現地
会費：3000円（賞品代）
※新ペリア方式、上限なし、女性ハンデあり
懇親会はプレー終了後、たきびさんにて午後5時より開催

参加者およびペアリング
1組　目時 美沙　野澤 礼子　嶋田 憲三　相羽 正
2組　鈴木 彰一　野澤 秀夫　石山 敬　田中 重義

順　位	プレイヤー	OUT	ＩＮ	GROSS	HDCP	NET
優　勝	野澤 秀夫	48	42	90	17.6	72.4
準優勝	野澤 礼子	49	48	97	24.4	72.6

順　位	プレイヤー	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
3　位	田中 重義	41	39	80	6.8	73.2
4　位	鈴木 彰一	46	46	92	17.6	74.4
5　位	石山　敬	45	40	85	10.4	74.6
6　位	嶋田 憲三	56	54	110	32.0	78.0
7　位	目時 美沙	53	50	103	24.4	78.6
8　位	相羽　正	52	50	102	22.4	79.6

■村越プログラム委員長

6月5日の卓話についてプログラム委員会よりご連絡です。
振り込め詐欺、空き巣の手口、注意等について「東村山警察署からのお知らせ」とした卓話を行ないます。当日は欠席をせず、ぜひ出席をお願いします。

■クラブ協議会（地区研修協議会報告）

■相羽クラブ奉仕委員長

クラブ奉仕部門の参加者は66名でＧエレクトの鈴木様よりコミュニケーションロータリーを目指し、会員増強に繋げて行く普及をお願いしたい、また活動はメール、ホームページなどを活用し、入会して欲しい人に送る、ロータリーを知らない人が多い地域に知ってもらうよう努めてください。クラブ奉仕員長の役目は職業奉仕委員をクラブに浸透して行く事、奉仕の理想に基づいて楽しんでクラブライフを送って欲しいと締めくくりました。
クラブ奉仕委員会のパネラーは
・相談役　櫻井健司パストガバナー
・次年度地区クラブ奉仕委員長　佐藤文則
・次年度地区クラブ奉仕風委員長　庭山正一郎

クラブ奉仕部門
次年度活動方針説明
次年度地区クラブ奉仕委員長　佐藤文則、地区委員長の報告から始まりました。
ＲＩ、国際ロータリー、2014～15年度のテーマ「ロータリーに輝きを」
①会長　ゲイリーＣ･Ｋ･ホァン　「台湾」
②会長の指針「地域社会でロータリーの存在感を高めよう」、そして会員数を130万人に、ポリオ撲滅を完遂しよう、「まずは行動しようよ」出来ない事は考えないで。

現在世界の会員数は120万人、日本の会員数は89000人、地区の会員数は3026名

クラブ奉仕委員会の位置づけ
①クラブ奉仕は「ロータリーの樹」の根の部分である
②どっしりとした「幹」がロータリーの職業奉仕になる
③すくすく伸びる枝が社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕になる
④クラブの確固たる土台は会員基盤づくりである
⑤会員増強と退会防止に努めること
⑥例会に出るのが楽しくなるクラブ運営に努めること
⑦クラブの活性化は、人脈づくりと、ロータリーの人づくりである

今抱えている問題点は
①ロータリーの存在や活動を知らない人が多い
②地域のニーズに合致した奉仕活動を展開しても情報発信力が弱く一般に周知されていない
③ロータリー活動の社会的意義、活動の楽しさの発信力不足である
④日本ロータリーの「陰徳フィロソフィー」が今の時代に合致しない
⑤ロータリーの発信力不足、既存のツールの利用を含め、情報発信の頻度を高めよう

ＲＩ第2580地区2014～2015年度活動方針　「地区ガバナー鈴木孝雄」
①ガバナーの願いとしては、地区にあった価値ある奉仕活動を模索して各種会合で「相互理解を深める親睦」を図り是非入会したいと思う、会員増強が実現できる活動をして記憶に残る1年にしよう
②会員増強に向けて、若い人を誘う知恵を出そう、交換留学生や米山学友に卓話を通じて、入会勧誘や長期的な見地から地域を見直し価値ある奉仕活動を推進しよう
③地域と連動した広報活動でロータリーの存在を知らせよう
④楽しくなければロータリーじゃない。卓話の充実、会員相互の理解と親睦を深め、例会や奉仕活動に積極的に参加し出来る雰囲気づくりに努めよう
⑤例会に出るのが楽しくなるクラブ運営に努めよう
⑥クラブの活性化は人脈づくりとロータリーの人づくり

■中丸職業奉仕委員長

4月15日にロイヤルパークホテルで開催された地区協議会の職業奉仕部門の報告をさせて頂きます。
相談役に多田宏パストガバナーをお迎えし、東京東江戸川ＲＣ鈴木次年度職業奉仕委員長の挨拶から始まる、職業奉仕の部門会議が開催されました。
先ず、職業奉仕について定番とも言える職業奉仕入門ガイドブックと2013年手続要覧を抜粋した簡単なテキストをもとに説明がありました。次に当時松下電器産業会長であり大阪ＲＣの会員でもある、松下幸之助氏のまとめた「職業奉仕ということ」という小雑誌を各出席メンバーが段落ごとに順番に読み上げ勉強いたしました。職業奉仕を企業人としてとても分かり易くま

とめてありますので、今後機会をみて皆様にお配りしようと思いますが、今日は冒頭の文章を紹介いたします。「企業というものは天下の金、天下の人、転化の土地を擁して事業を営んでいるのである。だから、その企業が事業活動を通じて、何かしら社会にプラスするものを生み出さなければ、その企業の存在のご意義はないと言っていい」。

次に多田パストガバナーが以下の例示を示され説明された。

1.何故職業奉仕なのか
一業種一名の原則は崩れ、今のロータリークラブからは職業奉仕が消えかかっている。例をあげるとアメリカでは無職のロータリアンも多い。金持ちで暇を持て余しているリタイヤ組みの人たちである。

2.ロータリアン個人の職業を通しての奉仕活動
若者を育成し、職業人を育てる。職業倫理の向上。事業継続こそ奉仕の第一歩。この三点を強調。

3.親睦はロータリー活動の原点
今年度地区委員会も親睦を重視する事が必要。その為には各人が先ず出席すること。

4.地区委員会に出席しているクラブ委員長の使命
地区委員会の内容を自クラブへ伝達する事、させることが重要。自クラブで職業奉仕の勉強会を設営すること。

最後に連絡事項を伝達して終了となりました。

■小町社会奉仕委員長

地区社会奉仕委員長・長尾益男様より活動方針の説明がありました。次年度ＲＩ会長の方針の中で、クラブが地域における存在意義を確認してもらうためにも、ロータリーらしい地域に密着した社会奉仕を奨励します。

1.ロータリーらしい社会奉仕を奨励する
①1992年「決議92-286」サンフランシスコ宣言で6つの指針の中で、地域社会の奉仕の機会を定期的にニーズ調査する。地域のニーズを汲み、地域内のクラブの立場、力量を勘案して始めること。社会奉仕プロジェクトを実施する時は、会員の職業上の能力、趣味の力を生かすこと。そして一般の人々に十分認められること。
②社会奉仕を成功させるためにロータリー財団地区補助金を活用する。
ロータリー財団の使命である、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できること。
2014-2015年度地区補助支援基準・募集は2014年7/1から9/30、面談経て、選考結果12月頃発表、2015年6、7月Ｒ財団本部より結果発表、その後1年で遂行。

2.地区社会奉仕委員会の推奨するテーマは
「防災から減災へ、ロータリーは何が出来るか。」東日本大震災から学び、人と自然の共生を考えよう。

3.ロータリー希望の風奨学金
地区委員が各クラブに行き、希望の風奨学金の卓話に行き、支援活動の推進を計る。

■山本国際奉仕委員長

2014～2015年度国際奉仕活動について

■中央分区、東京西北ＲＣ：
・タイ山岳民族の子供たちに対する援助（さくらプロジェクト）
・ベトナム子供基金への支援

■中央分区、東京新都心ＲＣ：
・ロータリー財団地区補助金の申請・認可に伴い、現在進めているカンボジア支援を継続していく。

■北分区、東京王子ＲＣ：
・姉妹クラブ、台北府門ＲＣとの友好共同事業活動の実施

■東分区、東京江戸川ＲＣ：
・台北東ＲＣ、セ･ソウルＲＣ，バーリンゲイムＲＣ等、各姉妹クラブとの更なる交流を深めるべく、各姉妹委員会に協力する。バーリンゲイムＲＣとは初めてになる、子弟の短期交換ホームステイを実施したい。

■武蔵野分区、東京東久留米ＲＣ：
・会員に対しロータリーの国際奉仕の理念を正しく理解してもらうための情報を伝達する。
・クラブレベル及び、個人レベルで実践できる国際奉仕活動の研究・検討の機会を作る。
・他国のクラブとの交流を通じ友好クラブ提携の可能性を模索する。
・国際大会（ブラジル・サンパウロ）への参加を会員に促す努力をする。

■多摩分区、東京秋川ＲＣ
・姉妹クラブ「韓国・蜜陽ＲＣ」に高校生の短期交換留学生を開始お願いする。

■沖縄分区、名護ＲＣ
・やんばる（沖縄北部の別称）における国際交流活動の支援
・外国人による日本語弁論大会の後援
・名桜大学の各国留学生との交流（定例会・その他行事などへの招待）
・米山月間（10月）で米山記念奨学事業のクラブ会員への啓蒙

■野村（裕）青少年奉仕委員長

平成26年4月15日（火）第2580地区、地区研修協議会がロイヤルパークホテルで開催された。次年度青少年奉仕委員長として青少年奉仕部門の協議会に参加したので、概要を報告します。参加後1ヶ月以上経っているので記憶が薄らいでいる。相談役は小澤秀瑛氏（青梅ＲＣ）で欠席、代理で地区副幹事の稲川一氏（豊島東ＲＣ）の挨拶で始まる。委員長の高橋映治氏（臨海ＲＣ）が挨拶し、方針を述べた。

「地区青少年奉仕委員会は、それぞれ40年の歴史があるローターアクト委員会、インターアクト委員会、青少年交換委員会と束ね包括委員会として、各委員会の邪魔にならないよう連絡役と調整役に徹したい。
そして次年度は中学生職場体験、高校生インターンシップについては、青少年奉仕委員会が担当することになった。
地区の青少年奉仕委員会方針は以上の通りですが、ローターアクト、インターアクトの未提唱クラブが多い中で、青少年奉仕はなかなか難しいと思っているクラブが多いという事がアンケート結果で出ています。従ってローターアクト、インターアクト、青少年交換以外にも、10、20代の青少年に関する活動は全て青少年奉仕活動なので頑張って行きましょう。
主な活動予定として、
①9月の青少年月間に「在京地区青少年全体会議」を前年に引き続き開催する。
各委員会で活動する青少年との交流が趣旨です。
②「青少年奉仕情報」を各クラブに向けて発信する。
各委員会の活動報告、青少年奉仕に関する各クラブの取り組みの状況を報告します。
③「青少年奉仕ガイドブック」を発行する。
昨年度、本年度と「青少年アンケート」を実施したので、その結果と、独特な活動、興味深い活動などを紹介して各クラブの参考になるような内容にします。
まずは9月の青少年月間に卓話に呼んで下さい。」
ということで方針説明があった。

その後、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会からの方針説明が、各委員長より行なわれた。協議会の話を聞き「委員会としての活動の難しさを感じているクラブが多い」ことを感じた。
前年度の牧野委員長の話は興味深かった。「若い世代の会合に出席すると、経験とか知識と言う年寄りの殻が破れて、年齢差を感じずに話が出来ロータリアン自身も若返られて良いことである。活動の困難さの指摘もあるが、社会奉仕委員会などとの連携で活動を進めたら良いのではないか」とのアドバイスがあった。

■閉会点鐘：野村会長